

ペロ藍との出会い



佐々木氏



展示空間を大幅に拡張してリニューアルされた皇居二の丸尚蔵館（旧三の丸尚蔵館）が、昨年十一月から特別展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」を開催している。会期が四期に分かれ、「蒙古襲来図」や「動植綵絵」小野道風「屏風土代」などは年末に終了した第一期に展示された。

伊藤若冲の傑作「動植綵絵」（国宝）全三十幅は、一七五七（宝暦七）年頃から一七六六（明和三）年頃にかけて制作された。

「釈迦三尊像」とともに京都の相国寺に寄進され、江戸時代を通じて同寺の名物として親しまれたが、明治二十二年明治天皇に献納された。ときは廃仏毀釈のさなか。存亡

の危機にあった相国寺はこのお返しに得られた下賜金で危機を脱することができたという。

このシリーズの中の一点、「群魚図（鯛）」に、いかにも南方系の背に鮮やかな黄色の筋の入った魚が描かれている。ルリハタという。図鑑では、温かい海を好み、主に九州以南に生息するとある。

ベルリンで偶然に

しかし実際には、以前から瀬戸内海を渡って大阪湾まで、あるいは黒潮にのって和歌山近海まで北上してくる個体も少なくなかったらしい。つまり、当時の大阪京都間の物流を考えれば、京都に住ん

でいた若冲が実物を目にする機会があったことは十分推察できる。

先年、このルリハタの非破壊検査で、一部に「ペロ藍」と呼ばれる青の顔料が用いられていたことが明らかになった。

ペロ藍は十八世紀初頭、プロイセン（現在のドイツ）の首都ベルリンで偶然発明され、その後、四半世紀の間に貴重で高価な天然顔料ラピスラズリの代用色として広くヨーロッパ各地で製造されるようになった。

ベルリン・ブルーあるいはプロイセン・ブルー（ブルシャーン・ブルー）と呼ばれ、日本に長崎のオランダ貿易によって流入後、ベルリン・ブルーが転じてペロ藍となった。

ヨーロッパでは比較的安価に入手できるとはいえ、日本で売買されるときには「舶来もの」は高価である。市井の画家たちが簡単に使えるようなものではなかった。

事実、今確認できる範囲では、おそらく若冲の「群魚図（鯛）」が最も早い作例であり、その前後にも使用例は見当た

SEKINOYU EVENT CALENDAR

2024.2月 イベントカレンダー

最新情報!

日	月	火	水	木	金	土
				1 ヨガ教室 レディースデー	2 スタンプ 2倍Day	3 餃子の日 森の半 木酢風呂
4 ひのき 馬油風呂	5 スタンプ 2倍Day	6 レディースデー	7	8	9 メンズデー	10 生ひのき ボール風呂
11 建国記念の日 超ビッグ大会 13:00~ 森の半木酢風呂	12 振替休日 カラオケ大会 13:00~	13	14 Valentine's Day 13:00~	15 スタンプ 2倍Day	16 フライデー ナイトビッグ 19:00~	17 ひのき 馬油風呂
18 生レモン風呂	19	20 スタンプ 2倍Day	21 レディースデー	22 メンズデー	23 天皇誕生日 ゆず湯	24 カラオケ大会 13:00~
25 超ビッグ大会 13:00~ ひのき 馬油風呂	26 スタンプ 3倍Day	27	28 スタンプ 2倍Day	29	<p>Valentine's Day バレンタインデー</p> <p>2月14日(水)</p> <p>バレンタインデー特別企画 男性のお客様限定</p> <p>♥入泉料半額(1,050円) ♥スタンプ 2倍サービス ♥プレゼント差し上げます お楽しみに!</p>	

フライデーナイトビッグ

FRIDAY NIGHT BINGO!

令和6年2月16日(金)

19時00分~3階大広間 特別ステージ

金曜の夜に
何かが起こる!?

ビンゴカード1枚 600円

勿来温泉 関の湯 いわき市勿来町関田須賀 1-4
TEL.0246 (65) 1126

らない。

一般的にペロ藍が爆発的に使用されるようになったのは、一八三〇年頃からと考えられている。

その少し前、清国（中国）から大量にペロ藍が流入し、価格が一気に下がったことにより、青が涼しさを促すということから溪斎英泉の扇絵や、従来にはない鮮やかな色彩に着目した葛飾北斎の「富嶽三十六景」〔神奈川沖浪裏〕は特に有名）など、大量生産される浮世絵にも用いられるようになったのである。

●谷文晁

「八仙人図」(三幅対) 一八二五年 福島県立博物館蔵



さてこのペロ藍。若沖の使用（一七六六年前後）から英

泉に至るおよそ六十年間に、いかに高価とはいってもまったく用いられなかったと考えるのは不自然である。

若沖と北斎繋ぐ？

画家の「性」とでも言おうか。新しい魅力的な素材を見つけたら、たとえ〇〇を質に入れてでも買い求め、使いたがる者がいたはずである。ただ単に、まだ作例が見つからないだけだと——私は考

えていた。

専門外なのでそう思いつつも他に忙殺されていたのだが、昨年秋、栃木県立美術館で開催された「文晁と北斎展」に立ち寄り、以前にも見たことのある谷文晁作「八仙人図」を改めて丁寧に見て、もしかと思つたわけである。

文晁が白河藩主・松平定信公との交流があつたことから福島県立博物館が収蔵したこの名作で、文晁は全体としては色彩を抑えつつ、仙人の帽子や衣服の襟、腰ひもなどに青と緑を効果的に使用しているのだが、よく見ると、青は三色の顔料を使い分けているようなのである。ツククサ、藍、藍銅鉞など、

日本でもいくつか原料の異なる青が使用されてきたが、ど

うも私には、描き分けられた三色の中で一番深く鮮やかな青が、先に挙げた日本伝統の青よりさらに濃いペロ藍のように思われたのである。

だとすると、これは若沖と北斎を繋ぐミッシングリングか——。

そう色めき立つてはみたのだが、いかんせん科学的な根拠は何もないし、突っ込んで調べる権限もない。だから今は、そう遠くないいつの日かこの作品の非破壊検査が行われ、顔料が科学的に特定されるのを期待して待つことにしている。

●伊藤若沖「動植綵絵」(全三十幅)のうち「群魚図(鯛)」

一七六五—六六年 画面左下にルリハタ。当時、江戸や大阪などでは、一種の博物学ブームが起こっていた



筆者プロフィール 佐々木 吉晴

ささき・よしはる

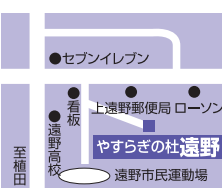
1956（昭和31）年宮城県生まれ。東北大学文学部哲学科美学西洋美術史専攻卒業。いわき市在住。1980年、いわき市立美術館建設準備室に勤務、学芸課長、副館長を経て2012年から2021年まで館長。現在、宇都宮美術館長、斎藤清美術館長、全国美術館会議理事・災害対策委員長

故人を送る厳粛な儀式。祈る心を真心こめてやすらぎの杜遠野がお手伝い致します



やすらぎの杜 遠野

〒972-0161 いわき市遠野町上遠野赤坂27-1



■問い合わせ先 (有)遠野造花店

TEL.0246-89-4777



やすらぎの杜 船尾山

〒972-8312 いわき市常磐下船尾町作62

静かなる旅立ちに真心を添えて

